



下松中学校 ボランティア生徒によるワックス清掃

目 次

- 12月定例会について 2
- 令和3年度会計決算認定について 5
- 一般質問(12月定例会) 8
- 行政視察/出前市議会・訪問市議会/
今後の議会日程/編集後記 16

12月 定例会 上程議案

全会一致で可決された議案

補正予算	一般会計(第5号)(第6号) ◀ P3 参照
	介護保険特別会計(第2号)
	後期高齢者医療特別会計(第2号)
条例制定	地方公務員法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例
条例改正	市職員の定年等に関する条例
	市職員の給与に関する条例等
	市長等に対する期末手当の支給に関する条例
	公民館条例
	工場等誘致奨励条例
人事案件	人権擁護委員候補者の推薦への意見
その他	指定管理者の指定について
	市道路線の認定について
	笠戸島ハイツ解体工事請負契約の締結について
3年度決算認定	水道4事業(水道、工業用水道、簡易水道、公共下水道)会計決算 ◀ P6 参照
	介護保険特別会計決算 ◀ P7 参照

令和4年第9回市議会定例会は12月7日から21日までの15日間の会期で開催されました。主な議案の審議内容について掲載しています。



12月 定例会



賛成多数で可決された議案

条例制定	市個人情報保護法施行条例 ▶ピックアップ
	個人情報保護法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例
条例改正	市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例 ◀ P4 参照
3年度決算認定	一般会計決算 ◀ P5 参照
	国民健康保険特別会計決算
	後期高齢者医療特別会計決算 ▶ P7 参照
	国民宿舎特別会計決算 ◀ P6 参照

賛成少数で否決された議案

請願	周南地区衛生施設組合が建設する新斎場での使用料徴収に同意しないことを求める請願 ◀ P4 参照
----	--

《本会議 質疑》

議員 特定の個人を識別できないように加工した個人情報(匿名加工情報)は、どのようにして作成するのか。

市 今回の法改正では匿名加工情報の提供は任意であり、本市では提供しない。

議員 国の法改正は、個人情報の保護ではなく、活用することが根底にあるのではないかと。

市 国の法改正は、これまで別個の法律や条例により定められていた個人情報保護に関する不整合を、一つの規律にまとめるためのものと考えている。

国が個人情報の保護に関する法律を改正したことに伴い、これまでの市個人情報保護条例に代えて、必要な事項を定める条例議案と、関係条例の整備を行う条例議案がそれぞれ上程され、可決されました。

《反対意見》

田上茂好 【48号について】 個人情報は個人の人格尊重の理念のもと、慎重に扱われるべき。個人の権利を明確にし、プライバシー権を拡充する法改正が必要。

渡辺敏之 【49号について】 この新条例は、オンラインに結合し、個人情報を民間に活用させるもの。個人情報の保護に逆行し、情報漏れの危険性が高まる。

こんな意見が出ました

《賛成意見》

松尾一生 デジタル化に対応したデータ開示と個人情報保護の相克の中で、地方公共団体ごとの規定・運用の相違、不備が明らかとなった。令和5年に個人情報保護に関する3本の法律が一本化されることで、こうした団体ごとの規定・運用の相違や不備が解消されることになる。本条例は、これに伴う施行条例、関係条例の整備である。

国の法律改正に伴う条例の制定

〈いずれも賛成多数で原案可決〉

〈議案第48号〉 市個人情報保護法施行条例
〈議案第49号〉 関係条例整備

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

採決の結果
(48・49号ともに)
賛成○ 反対×
(議長は表決に加わらない)

燃料価格高騰に伴う電気料金増額など
〈いずれも全会一致で可決〉

電気料金増額に対応

補正予算〔第5号〕ピックアップ

- 燃料価格高騰による電気料金増額
〔補正額 3,970万円〕
市役所本庁舎、小中学校、公民館等の電気料金増額に対応

〈総務教育委員会 質疑〉

議員 民間施設等への対応についてはどうか。

市 国、県の支援の状況を見ながら、今後検討していきたい。

小中学校の整備

補正予算〔第5号〕ピックアップ

- 小学校空調設備整備工事
〔補正額 4,200万円〕
久保小、公集小の空調設備整備
- 中学校屋内運動場照明改修工事
〔補正額 1,300万円〕
久保中の屋内運動場照明改修

〈総務教育委員会 質疑〉

議員 久保中学校屋内運動場照明改修工事について、工事の実施時期はいつか。

市 令和5年度の冬休みを中心に工事を行い、令和6年1月末に完了する予定。



中小企業への感染症予防対策補助

補正予算〔第5号〕ピックアップ

- 中小企業感染症予防対策補助金
〔補正額 1,500万円〕
申請件数や支給金額が増加したことにより増額

〈総務教育委員会 質疑〉

議員 補助金の申請件数等の状況はどうか。

市 約300事業所、平均の支給額を15万円と当初見込んでいたが、申請件数が増加し、約370事業所、平均の支給額が16万円となる見込み。

子育て家庭への支援

補正予算〔第6号〕ピックアップ

- 出産・子育て応援交付金事業
〔補正額 6,220万円〕
- ★伴走型相談支援
子育て世代包括支援センターの保健師など専門職との面談を実施
- ★出産・子育て応援ギフト
妊娠届出時に5万円、出生届出時に5万円を支給予定



〈本会議 質疑〉

議員 出産・子育て応援ギフトの対象となるのは。

市 令和4年4月1日以降に生まれた子どもが対象になる予定。

議員 伴走型相談支援について、どのような取組を考えているのか。

市 これまでも保健師を中心として、妊娠届出時等に相談支援を行ってきており、さらに拡充を図っていく。



どのように変わるの？

年間支給月数	改正前	改正後
	3.3	3.35

国家公務員の給与改定方針に準じ、市議会議員の期末手当の支給月数を改定する条例が上程され、賛成多数により可決されました。
これにより、年間の支給月数が3.3月から3.35月に変更されました。

こんな意見が出ました

《反対意見》

田上茂好 職員の給与と特別職の報酬には性質の違いがある。人事院勧告は、職員の待遇改善はもとより、民間との格差を最小限にする目的がある。議員の報酬は人事院勧告に準ずべきとは言えず、慎重に検討するべきである。

《賛成意見》

中谷司朗 議員の待遇については、市民の厳しい視線を意識せざるを得ず、様々な意見があつてしかるべきと考える。客観的な指標となる人事院勧告を参考として、それに沿った判断を爾々と受け入れるべきものだと考え賛成する。

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果 賛成○ 反対× (議長は表決に加わらない)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	

市議会議員の期末手当の支給月数を改定
〈賛成多数で原案可決〉

〈議案第60号〉 市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

請願の内容

周南地区衛生施設組合が検討している新斎場では、現在の斎場では無料となっている使用料を、1件1万円徴収する予定となっている。市民は生涯に1度しか火葬場を使用することはなく、受益の偏りは起こり得ないため、受益の偏りを是正するための使用料の徴収に根拠はないと考える。よって、新斎場での使用料徴収には、市議会として同意しないことを求める。

こんな意見が出ました

《反対意見》

中谷司朗 新斎場の火葬料の維持管理費の一部を利用者にご負担いただくことは、受益と負担の関係において、やむを得ない時代がすでに到来していると考え。市には、利用者に、その趣旨を丁寧に説明することをお願いする。

山根栄子 公営施設においても、事業を円滑に運営するための事業資金の確保は、当然運営計画に組み込まれるべき。市民の方からも「施設を利用させていただくのだから、使用料を払うのは当然のことだ」との声も頂戴している。

《賛成意見》

田上茂好 使用料無料は時代遅れという意見もあるが、なぜ無料とされてきたのかを考えるべき。徴収する明確な理由も示されていない。このまま徴収することに賛同しないしてほしいという市民の願いに、応えなければならぬ。

12月定例会の最終日に、新斎場の使用料に関する請願が上程されました。質疑、討論の後に採決をとり、賛成少数で不採択とされました。

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果 賛成○ 反対× (議長は表決に加わらない)
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	

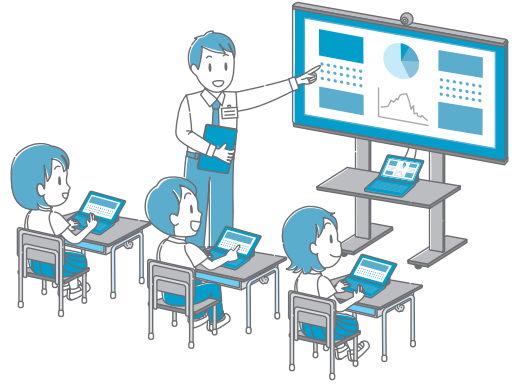
新斎場で使用料を徴収することに、市議会として同意しないことを求める
〈賛成少数で否決（不採択）〉

〈請願第1号〉 新斎場での使用料徴収に同意しないことを求める請願

令和3年度会計決算の認定について

総務教育委員会

●一般会計決算 審査



《委員会での質疑》

議員 ICT教育の成果や今後の課題について、どのようにとらえているか。

市 児童生徒については、文書作成や情報検索、プレゼンテーションといったタブレットの基本的な操作の習得が確実に進んだ。教員は、子供たちに分かる授業、楽しい授業を提供しようと日々努力し、研究に励んでいる。今後の課題として、タブレットの教育効果や健康・生活への影響について評価・検証を行う必要があると考えている。

議員 学校プールは、これからも各校に設置するのか、それとも集約していくのか。

市 学校プールは、全学校で老朽化が進んでいる。今後の改修等については、これまでどおりの個別設置や、共同利用、温水プールの利用も含め、調査・研究しながら進めていく。

議員 財政構造見直し指針の実行状況について、令和3年度の進捗と成果、今後の見通しをどう考えているか。

市 指針上の令和3年度の目標については、ある程度達成できたと考えている。経常経費は一定の削減を終えているため、今後は投資的経費のほうに目を向け、進めていきたい。

議員 市の業務のデジタル化について、今後どのように進めていくのか。

市 下松市 DX 推進計画において、人に優しいデジタル化の推進を掲げている。デジタルデバインド対策にも取り組みながら進めていきたい。

本会議へ

こんな意見が出ました

《反対意見》

渡辺敏之 コロナ対応は評価するが、市財政は危機的だと、敬老祝金廃止など、福祉施策を後退させたまま。しかし、危機の原因は、市民福祉ではなく、大城等の建替・整備の借入金返済であることは数字が示すが、反省がない。

《賛成意見》

松尾一生 令和3年度はコロナ禍の中、税源涵養、徴収確保に努めつつ、適時適切な臨時交付金の活用もされた。人にやさしいデジタル化、子どもたちを市民総がかりで守り育てる取組も実践され、オール市役所での事業執行だった。

オール下松市役所で事業を実施

〈賛成多数で原案可決〉

〈認定第5号〉 令和3年度一般会計決算の認定

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果 賛成○ 反対×
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	(議長は表決に加わらない)

令和3年度会計決算の認定について

建設経済水道委員会

- 一般会計決算 調査
- 国民宿舎特別会計決算審査
- 水道・下水道事業会計決算審査



委員会の様子

《一般会計 質疑》

議員 プレミアムチケット販売事業による商品券販売について、市内経済への効果はあったか。

市 商品券分は市内で消費されるため、市内経済に大きな効果があったと考えている。

議員 パイプハウス設置助成事業について、パイプハウスの修繕に関する費用も該当するのか。

市 現行では、設置にかかる費用のみが対象となる。修繕を対象にすることについては、今後の検討課題。

議員 通学路の防草対策について、市民からの反応はどうか。

市 小中高生の通学路にあたる市道で、雑草により通行に支障が出る箇所について、コンクリート貼りを進めている事業である。地元の方からは「とてもよくなった」という声をいただいている。

《一般会計 質疑》

議員 豊井まちづくり整備事業に関し、さらなる職員配置が必要ではないか。

市 事業の状況によっては、人事部局に要望する。事業に見合った職員配置で事業を進めていきたい。

《工業用水道事業会計 質疑》

議員 工業用水道の契約水量等について、今後の見通しはどうか。

市 分水納付金の改定により、令和4年度決算以降は工業用水道事業会計の収入も減っていくため、今後厳しい見込みになる。いずれは、この会計の在り方も検討が必要と考える。

本会議へ

こんな意見が出ました

《反対意見》

田上茂好 コロナ禍により大城の経営は厳しい結果となっているが、職員の管理能力を問われる事態も発生している。利用料金制を継続していいのか疑問である。経営状況をチェックするためにも、収支を明確にした特別会計にするべき。

《賛成意見》

藤井 洋 この特別会計は、建設費の償還や修繕料といった国民宿舎大城に関する市の経費を計上するものである。反対者の意見にも一定の理解はするが、この決算は問題なく認定すべきと考える。

経営改善に向けての努力を

〈賛成多数で原案可決〉

〈認定第9号〉 令和3年度国民宿舎特別会計 決算の認定

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果 賛成○ 反対× (議長は表決に加わらない)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	

令和3年度会計決算の認定について

環境福祉委員会

- 一般会計決算 調査
- 国民健康保険特別会計決算審査
- 介護保険特別会計決算審査
- 後期高齢者医療特別会計決算審査



《国民健康保険特別会計 質疑》

- 議員** 特定健診の受診率はまだまだ低いと考えるが、取組状況はどうか。
- 市** 現在、受診者に対し、市内4か所で利用できるクーポン券を配付している。この拡充も含め、様々な取組を検討し、受診率アップにつなげたい。

《後期高齢者医療特別会計 質疑》

- 議員** 高齢化率も1人当たり医療費も上昇しているが、保険料の今後の見込みは。
- 市** 保険料は市ではなく県広域連合が設定しているが、今後も上昇すると予測される。

《一般会計 質疑》

- 議員** 高齢者バス利用助成事業について、今後どのように改善していくのか。
- 市** 路線バスが通っていないところもあるので、タクシーの利用助成についても今後研究したい。
- 議員** 市立保育園での午睡チェックセンサーの利用状況と今後の課題は。
- 市** あおば保育園と潮音保育園のゼロ歳児のクラスで利用している。保育士の目を補助する形で利用しており、現在のところ課題はないと考えている。

本会議へ

《反対意見》

田上茂好 平成29年度から基金残高は8億7千万円余りを維持している。統一保険料により納付金増が予想されるとしても多額である。加入者の重い税負担を軽減することは十分可能である。更なる改善を求める。

こんな意見が出ました

《賛成意見》

中谷司朗 国保の基金は、国保保険料水準の県統一化が図られた場合、本市の標準保険料率が引き上がる方向に推移するため、激変緩和のためにも十分確保しておく必要がある。

基金をどのように活用するか
《賛成多数で原案可決》

《認定第6号》 令和3年度
国民健康保険特別会計決算の認定

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果 賛成○ 反対× (議長は表決に加わらない)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	

《反対意見》

田上茂好 高齢者の健康状態や病気の特性、負担能力を無視した制度になっている。度重なる負担増で、受診抑制や中断を引き起こす危険が増している。老人福祉法の趣旨に沿った制度実現に向けて、自治体が声をあげるべきである。

こんな意見が出ました

《賛成意見》

柳瀬秀明 本市は、窓口手続き、保険料の徴収業務を行っており、収納状況も2年連続13市中1位の収納率である。今後ご努力をお願いしたい。徴収業務に真摯に取り組んでいることを評価し賛成する。

13市中1位の保険料収納率
《賛成多数で原案可決》

《認定第8号》 令和3年度
後期高齢者医療特別会計決算の認定

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	村田	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	守田	採決の結果 賛成○ 反対× (議長は表決に加わらない)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	

令和4年12月定例会一般質問

一般質問は、12月13日、14日、15日の3日間で行われ、13人の議員が市政全般にわたる諸問題について質問をしました。

網掛けをした質問項目は、質問及び答弁の要旨を9～15ページに掲載しています。

質問日	質問者	質問項目	掲載ページ	
12月13日 (火)	ふじい ひろし 藤井 洋	1 一般財団法人笠戸島開発センターの令和3年度決算について 2 恋ヶ浜緑地公園整備事業について 3 地域公共交通網対策について	9ページ	
	やまね えいこ 山根 栄子	1 物価高騰に今後どう向き合っていくのか。 2 入札制度について		
	ほりもと ひろし 堀本 浩司	1 下松市財政構造の見直し指針について 2 学校教育について	10ページ	
	ながた のりお 永田 憲男	1 静かなる有事と言われる少子化による人口減少に対し、自治体としてどのように取り組むか。		
12月14日 (水)	さいとう こ 斉藤 マリ子	1 自治会加入促進及び新たな住民組織の構築について 2 中学生の医療費無料化への取組について	11ページ	
	たがみ しげよし 田上 茂好	1 市内事業者への経営支援対策について 2 交通弱者対策について		
	こんどう やすお 近藤 康夫	1 天王森古墳の今後の展開と課題について 2 笠戸島ハイツ解体後の跡地利用の方向性(市としてのビジョン)について 3 コロナ禍における市民の健康保持(心と身体)のために、最も大切なものは、何か。 4 日本一の住みよいまちにするための、市長の政治理念について		
	やなせ ひであき 柳瀬 秀明	1 乳幼児健康診査の拡充について 2 高齢者の生活支援について 3 男性用トイレへのサニタリーボックス設置について		
12月15日 (木)	いそべ たかよし 磯部 孝義	1 「國井市長2期目の総仕上げ」2023年度の事業展開について	13ページ	
	きはら あいこ 木原 愛子	1 子どもの通園・通学バスの置き去り防止対策について 2 新たにスタートした「くだまつメール」について 3 高齢者及び障がい者の行方不明時対応について 4 市のシンボルタワー星の塔について		
	わたなべ としゆき 渡辺 敏之	1 令和3年度の笠戸島開発センター決算における特別損失について 2 新斎場に関わる市の対応について、市長としての見解を問う。		14ページ
	あさもと てるあき 浅本 輝明	1 「伸ばそう若者のまちくだまつ」持続可能なまちづくりの推進のために		
12月15日 (木)	もりた あやみ 守田 文美	1 大海線開通に伴う通行方法の変更について 2 小中学生を取り巻く諸問題について 3 野犬対策の現状と今後について	15ページ	



藤井 洋

(政友会)

恋ヶ浜緑地公園整備事業について

問 今年度より、恋ヶ浜緑地公園では、誰もが安心して楽しむことのできる公園を目指し、整備に着手している。完成までのスケジュールについて伺う。また、複合遊具の設置については、利用者の意見を参考にすべきと考えるが、いかがか。

答 公園整備事業は、子育て世代や障がいのある方のご家族等の意見を取り入れた整備手法が評価され、「社会課題対応型都市公園機能向上促進事業」として、他の都市公園のモデルとなる公園整備を今年度から3か年で進めている。11月に地域交流センターふれあい広場で開催したインクルーシブ遊具体験会においてアンケート調査を実施

地域公共交通網対策について

したところ、多くの期待の声と貴重な意見をいただいた。こうした意見を取り入れながら、誰もが安心・安全・快適に楽しむことができる公園となるよう取り組む。

問 高齢者バス利用助成事業は、近年、免許返納などの制約もなくなり、利用件数も伸びてきている。今年度から利用対象年齢を70歳に引き下げた効果について、伺う。また、利用範囲をタクシーにまで広げてはどうか。本市の道路状況は目覚ましい発展を遂げており、新しい路線の整備についてバス事業者との協議が必要と思うが市の考えを伺う。

答 平成23年度の事業開始以降、所得制限の撤廃など対象の拡充を行い、バス利用券の交付数は事業開始時より順調に増えている。今年度、対象年齢を70歳に引き下げる改善を行ったこともあり、12月時点で既に昨年度を大きく上回った。タクシーへの利用については、事業者との調整が必要となるため、調査研究する。バス路線の整備については、幹線や支線の強化につながるため、市民ニーズ、まちづくりの動向などを勘案し、交通事業者と協議していく。

物価高騰に今後どう向きあっているのか



山根 栄子

(鐵)

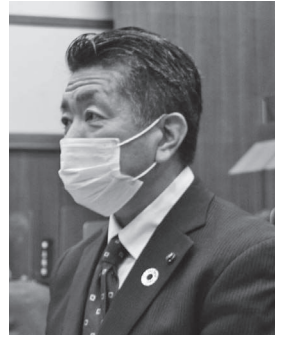
問 混沌とした世界情勢の中、輸入に頼る日本のエネルギーや食料は物価高騰が相次ぎ、家庭や企業は基より、公共機関の予算にまで既に影響を及ぼしている。12月定例会の本会議においても、消防、小中学校等の数か所に対してだけでも、燃料費の価格高騰を要因として合計3,970万円の追加予算となった。市民の皆様から預かっていただいている大切な血税を無駄にせずどう使い、令和5年度の予算編成にどのような向き合いのか伺う。

答 原材料価格の高騰や円安に伴う生活必需品などの値上げにより、家計への負担が増え、市民の日常生活や地域経済に影響が生じている事は、認識している。国による物価高騰の抑制等様々な対策が講じられているが、現時点では依然として先行きが見えない状況にあると考えている。令和5年度予算編成もコロナ禍以上に厳しい予算編成になるものと予想しているが、市においても出来るだけ市民生活に及ぼす影響等を勘案しつつ、財政も健全財政を確保しながら市民生活、地域経済の安定のために手をうっていききたい。

住みよさを実感できるまちづくりについて

相次ぐ値上げ!どうなる? 市民生活・経済活動・来年度予算





堀本 浩司

(公明党)

長期的視点に立った公共施設の在り方の検討について

問 見直し指針の中に公共施設の統廃合整理移管を進め、長期的な視点に立った公共施設の在り方の検討や長寿命化を進めるとある。スポーツ公園球場、農業公園、笠戸島家族旅行村について、運営方法の見直しや改善が必要であり、民間企業に委ねる方法もあると思うが、市の考えを伺う。

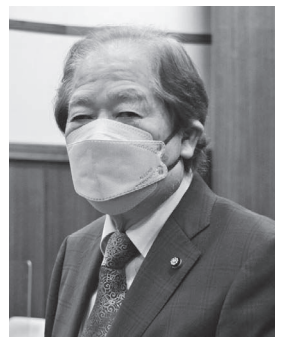
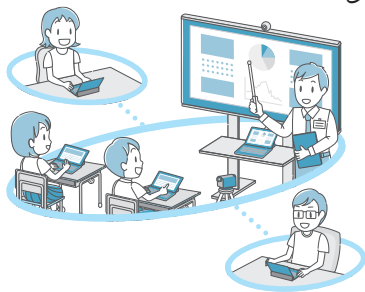
答 長期的視点に立った公共施設の在り方の検討を含め、公共施設等総合管理計画に沿って進めていく。ご質問の施設については、有効活用や維持管理コストの縮減を図りながら計画の基本方針に基づいて適正な維持管理に努め、次の世代に施設を継承していく。

下松市財政構造の見直し指針について 学校教育について

不登校児童生徒へのオンライン授業の出席扱いについて

問 不登校児童生徒が、全国的にも下松市においても増加傾向であり、喫緊の課題である。学校に通わなければならないとの神話は根強いが、子どもたちにとってどんな選択でも受け入れられる多様な場の整備が必要である。自宅で学べるオンライン授業の出席扱いについて考えを伺う。

答 文部科学省の通知では、不登校児童生徒が自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合、一定の条件が満たされれば出席扱いが可能であることを示している。市内中学校の中には、校内の相談室や、視聴を希望する児童生徒の自宅等へ授業の配信を始めた学校もある。この取り組みを踏まえ、出席の扱いについては慎重に検討していく。



永田 憲男

(新生クラブ)

自治体としてできることは何か

問 静かなる有事といわれる少子化による人口減少に対し、自治体としてどのように取り組むか。

答 我が国の出生数は、2021年に過去最少の約81万人となり、想定より早く少子化が進行していることから、将来的な社会経済に大きな影響を及ぼすことが懸念されている。このような中、本市では、これまでのまちづくりの取組が功を奏し、出生数の維持が図られ、合計特殊出生率の回復や人口の微増傾向に寄与してきたものと認識している。少子化の主な原因は未婚化、晩婚化と有配偶出生率の低下とされており、その背景には結婚や出産、子育ての希望の実現を阻む様々な要因が複雑に絡み合っている。

市では、若い女性のみならず、若い世代の定着還流に向けて雇用の創出を進めつつ、結婚、妊娠、出産、子育ての各段階に応じた切れ目のな

人口減少に対し、どのように取り組むか



い支援や環境整備を行い、未来へつなぐ持続可能なまちづくりを推進していく。



斉藤 マリ子

(無所属)

自治会未加入と新たな住民組織の構築について

問 自治会未加入世帯が増加し、公平であるべき市民生活に不平等が生じている。約3年に及ぶコロナ禍で子ども会活動も途絶え、地域の絆が薄れてきている。また、自治会長のほとんどの方が、一年ごとの輪番制となっており、住みよい地域社会づくりまでは望めないのではないか。そこで今後新たな住民組織を構築してはどうか。地域リーダーに活動費を支援し、自治会未加入問題への対策、子ども会、独居老人を市と協働しながら守っていく取組をしてほしいと考えるが、いかがか。

答 自治会に対する意識の変化や地域のつながりの希薄化により、活動の担い手不足が進んでいる。自助・共助・公助の理念に基づく協働により地域力の醸成を図るため、下松市自治会連合会との連携、情報交換、活動内容の

「見える化」をテーマとした行事を開催するなど、自治会が持続的に運営できるように支援していく。

中学生の医療費無料化について

問 現在、本市では中学生の入院分まで無料化されている。物価高騰により生活は苦しいが、親として子どもの医療費は節約できない、いつまで待てば下松市でも他市のように中学生の外来分も無料となるのか、といった声を若い世代から聞いています。中学生の外来分までの医療費無料化について、早急な実施が必要と考えるが、いかがか。

答 令和2年8月から、中学生の入院分の医療費助成を所得制限なしで開始し、経済的負担の軽減に努めている。本来、地域間格差が生じるべきものではなく、国の責任において全国一律に実施されるべきものと考

独自支援策が必要

問 収束の見えないコロナ禍、電気料金をはじめとした物価高騰の嵐、令和5年10月から実施される消費税のインボイス制度など小規模事業者は、益々厳しい状況に追い込まれようとしている。零細な事業者ほど、暮らしと命に直結する問題である。全ての事業者を対象にした独自支援策を実施すべきではないか。

答 総合相談窓口の設置、制度融資の拡充、各種支援金や補助金交付、商品券事業などの施策を展開してきた。事業継続や地域経済の活性化に一定の効果があつたと認識しているが、引き続き、適切かつ効果的な対策の実施に取り組んでいく。今後は相談体制のさらなる強化や市内経済情勢の把握に努めながら、国や県の動向に注視しつつ検討していく。



田上 茂好

(日本共産党)

急がれる交通弱者対策

問 地域公共交通は、地域住民の交通権を保障し、環境保護や地域再生に資する役割を持っている。現状の交通体系には、高齢者や移動困難者などが利用しづらい問題や地域間の不均衡がある。新たな公共交通計画の策定が進められているが、利用しやすく継続できる体系の構築が必要。計画の進捗状況はどうか。

答 令和4年度中の策定に向けて市民等へのアンケートや関係者に対するヒアリングを実施してきた。前計画の効果検証をもとに公共交通網の確保、利便性の向上、関係者との連携の考え方で素案の取りまとめを行なっている。暮らしを支える社会基盤として、本市の実情に沿った公共交通構築の策定作業を着実に進めていく。

零細な全事業者への経営支援を





近藤 康夫

(政友会)

天王森古墳の今後の展開と課題について

問 ①遺跡のリーダー調査の実施の時期はいつ頃か。

②重要文化財及び国宝の指定の可能性はどうか。

③大刀形埴輪をはじめ復元した多くの埴輪を、どこに展示するのか。また、教育の展開への在り方を問う。

④文化財行政のレベル向上のためには、専門職員(学芸員など)の配置の必要性があるのではないかと。⑤ブラッシュアップされた情報発信をするため、プロの広告代理店の知恵やノウハウを大いに活用してはどうか。

西日本有数の形象埴輪群が出土した大発見である。10年のスパンで考えたときに、私は例えば「くだまつ古代史ロマンの館」といったテーマパークの開設も視野に入れ、その調査・研究・準備に着手してもらいたい。

答

①リーダー調査は、今年度中に実施する。

②重要文化財の可能性は、花園大学の高橋克壽教授によると、その価値は十分あるとのことである。

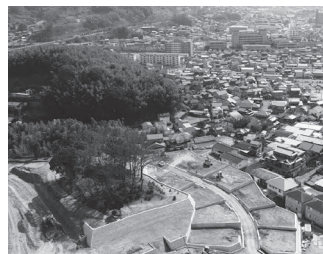
③順次復元される埴輪は、将来的に20体以上が見込まれるので、一括展示したい。場所の確保については、今後の課題である。

教育では、社会科学副読本やデジタルアーカイブ等を活用しつつ、体験的な学習も展開したい。

④専門職員の配置は、不可欠であると考えている。

⑤情報発信は、「オールくだまつ」で取り組む。

古代、ヤマト王権や東アジアにとって重要な地域だった可能性を秘めたわがまちにとっては、誇りと愛着を強くすることのできる大きな話題である。示唆に富む提言であり、感謝する。



天王森古墳

古代史テーマパークの開設を視野に 研究調査に着手せよ

一歳児健診の導入について

問

生まれてから満1歳を迎える時期は、乳児から幼児に成長する非常に重要な節目であるが、生後7か月から1歳半までの乳幼児の重要な発育期に、全く健康診査がない空白期間があり問題視されている。

さらなる子育て支援策として、1歳児健診の導入・実施の提案をするが、市の考えを問う。

答

乳幼児健康診査は、子供の発育・発達等のスクリーニングの視点だけでなく、子育て支援の場としても、非常に重要な役割があると認識しており、1歳児健診の導入については、他市町の動向をみながら研究していく。



柳瀬 秀明

(公明党)

乳児健康診査の拡充について

問

圧倒的に男性に多い膀胱がんや、男性のみ罹患する前立腺がんの手術後、排尿コントロールが難しくなり、尿漏れパッドを使用せざるを得ない男性が増えている。市民の方から、外出先でパッドを取り替えても、捨てる場所がなく困っているとの声をいただいている。

市役所本庁舎、その他公共施設の男性トイレに、サニタリーボックスを設置することはできないか、伺う。

答

これまでも、市民の皆さんが安心して利用できるよう、公共施設の環境整備に努めてきた。サニタリーボックスの設置については、今後、市民の利用が多い本庁舎1階のトイレへの設置を進め、利用状況をみながら、他の公共施設への設置の検討を進めていく。





磯部 孝義

(新生クラブ)

令和5年度の 予算編成について

問 国井市長2期目最終年度となる、令和5年度の予算編成の基
本方針や考え方（物価高騰への対応
や市内企業の動向の影響など）、職員
提案の状況や予算反映見込みを問う。

答 デジタル化の推進など、新た
な行政需要や社会経済環境の
変化への対応、少子高齢化など社会
問題や地域活性化への課題を前進、
行財政基盤の安定強化と「選択と集
中」による行財政運営に努める。

物価高騰への対応は一般財源の負
担が増加する見込みでコロナ禍以上
に厳しい予算編成になるものと予測
している。

市内企業の動向はおおむね好調な
推移が見込まれるが、企業の撤退等
減収見込みもあり注視していく。

昨年の職員提案から庁内エレベ
ータ内への備蓄ボックスの設置や、死
亡後の手続きの簡素化（おくやみハ
ンドブック作成）などが進んでいる。

令和5年度の事業推進、 体制整備について

問 令和5年度は、豊井地区まち
づくり整備や公共施設マネジ
メント、こども家庭庁設置に伴う子
ども政策などが重要施策と考えるが、
推進の考え方を問う。また、市政運
営につながる広聴活動の考えを問う。

答 こども家庭庁の趣旨であるこ
どもと家庭の福祉の増進、保
健の向上に必要な支援体制整備を進
める。地域間の人口
バランスの解消、人
口の定着に向け、豊
井地区の新たな市街
地形成を加速化す
る。企業立地の促進、
雇用確保に努める。
施設マネジメント強
化により財政負担の
軽減・平準化に努め
る。

物価高騰と戦う新時代 「国井市長2期目の総仕上げ」

施策が多岐に渡る
ことから、庁内の連
携を強化、官民協働
の「オールくだまつ」
で取り組む。
広聴活動は重要と
考えており、実施手
法や規模など総合的
に判断していきたい。

高齢者及び障がい者の 行方不明時対応について

問 認知症等で全国的に行方不明
となる高齢者が増加してい
る近年、本市においても同様の事
案が発生している。本市の高齢化
率は令和3年10月時点で、29.3%
であり、65歳以上の高齢者の数は
増加傾向である。また、令和3年
8月には、県内他市で障がいのあ
る児童が行方不明となる事案も発
生している。高齢者や障がい者の
行方不明時の対応について問う。

答 本市では、認知症の方の氏
名や住所等を「絆ネット」に
事前登録し、行方不明時に「くだ
まつメール」で、市民の皆さんに向
けて情報提供している。また、緊
急時の連絡先等を記入し携帯でき
るヘルプカードの配布も行っている。
今後は、行方不明時の捜索の手掛
かりとなるよう、靴などに貼れる
「見守りシール」の配布も検討して
いる。



木原 愛子

(無所属)

子どもの通園・通学バスの 置き去り防止対策について

問 他県において、認定こども園
の通園バスの車内に長時間閉
じ込められたことにより、3歳の子
どもが熱中症で亡くなる悲惨な事故
が起きた。また、その直後には、下
校中の生徒が中学校の通学バスに1
時間取り残される事案も発生した。
同様の事故が本市において生じるこ
とのないよう、どのよう
に対応するのか。

答 通園バスについて
は、安全管理に関
する実地調査を行って
いるところであり、安全装
置導入に対する支援事業
を積極的に促進する。通
学時のスクールバスにつ
いては、10月より運行業
務日報に、乗車人数・降
車人数確認といった項目
を新たに追加し、運行し
ている。

子どもや高齢者及び障がい者の命を 守る更なる取組を求めて





渡辺 敏之

(日本共産党)

「誰もが一度だけ使用する」
新斎場の使用料について

問 昭和48年以来御屋敷山斎場では、使用料が無料であった。なぜ新斎場では使用料を有料とするのか。6月と9月の本会議でも質問したが、「施設組合が決めること」として市長は答弁を拒んできた。公衆衛生上も必要であるとの観点から、法的にも火葬は強制されており、無料で行われることが望ましい。山口・防府市では今後も無料継続されると聞いており、本市でも無料継続を求めるがどうか。

答 斎場の使用料の徴収問題は、施設組合が決めることになるので、答弁は控える。

施設組合からは、斎場の使用時には、燃料等も必要であり、その経費の一部について負担を求めるものと聞いている。

「市民のみなさんが主人公」 だれもが納得できる市政運営を



笠戸島開発センターでの多額の特別損失の原因と対策

問 大城の運営を委託している財団が、決算で2070万円超の特別損失を出し、基本財産も多額のマイナスとなった。令和4年度の業績次第では、財団は解散となる危機である。他会計の収支の混入、書類の散逸は、月例の検査等で、長期間、発見できなかったとされているが、その原因と再発防止策を問う。

答 本会計と互助会会計との混同など、不適正な会計処理が、長期になされていた。今後は、外部会計機関による検査を行うなど、再発防止に努めることにしている。



浅本 輝明

(政友会)

持続可能な行財政運営の
ために

問 ①第6次下松市行財政改革推進計画について、全職員が全部署で一丸となって取り組んでいるか。

②自治体DXについて、この機会を起点として、地域人材の育成に努め、近隣の高校生や大学生が地域で活躍できるポジションを提供し、働く場の創出が必要と考えるがどうか。

答 ①実効性の高い計画にするため、行財政改革推進本部において実施項目の進捗状況の把握など進行管理を徹底しており、庁内横断的に全庁を挙げて行財政改革の取組を進めている。

②周南公立大学と包括連携協定を締結し、DX推進をはじめ地域の活性化や、地域人材の育成・確保などに共同して取り組んでいる。今後にも優しいデジタル化を推進しながら、持続可能な地域づくりを進めていく。

「伸ばそう若者のまち くだまつ」 持続可能なまちづくりの推進

安定した税財源の
確保のために

問 ①下松市に住みたいと思われるようなシニアプロモーションを行うべきと考えるがどうか。
②若い世代の移住・定住を促進するための住む場所の確保として、「空き家バンク制度」に取り組むべきではないか。

③子育て世代がみんなで情報を交換しあう場、家族でゆっくり遊んで楽しく学べる場を提供するために、「子育て情報博覧会」の開催を提案する。

答 ①これまで積み重ねた「住みよいまち」の評価とともに、多くの人の心に届く情報発信を展開していく。

②若い世代が本市に関心を寄せ移住・定住に結び付くよう、空き家バンク制度については、庁内横断的に議論を深めていく。
③誰もが安心して、妊娠、出産、子育てができるまちとして広く認知されるように、分かりやすく丁寧な情報発信の充実を努める。



守田 文美

(無所属)

公集小の南に新しい道路ができ、従来の市道が直進右折不可に



大海線開通に伴い、従来の市道から県道への接続が左折のみに変更され、県道西側市民は迂回を強いられている。何か対策することはできないか。



通行方法変更を決定するのは県と警察で、市としても従前の通行方法を維持できるよう協議を重ねたが、安全性を重視した結果、現在の通行方法に変更された。県道西側から末武川に向けた大海線延伸の都市計画もある。



開通した大海線

大海線開通で県道西側住民不便 公集児童の家全学年利用はいつ

校則・制服・ランドセル・久保小
ナップサック、野犬対策



①公集児童の家四年生以上の利用開始はいつか。

②校則・ジエンダーレス制服・通学帽・久保小ナップサックの見直し、教職員の負担軽減に向けての家庭訪問・通知表の廃止や2学期制の導入といった小中学校に関する諸問題について、どのように考えるか。また、小学校でのランドセルの使用は義務なのか。

③野犬対策の現状について、殺処分ゼロのために活動している団体・個人へ支援してはどうか。また、その財源としてふるさと納税NPO等指定団体制度を利用しているかどうか。



①公集児童の家については問題解消に向け引き続き検討する。

②久保中・末武中は2024年のジエンダーレス制服導入に向けて検討中である。久保小ナップサックの見直しなど、小中学校に関する諸問題については、各学校の意見を踏まえながら検討していく。また、ランドセルの使用は義務ではない。

③野犬について、県と捕獲を地道に行ってきた結果、捕獲数は減少に転じてきた。団体や個人への支援は検討したい。

傍聴お待ちしております

市議会では、マスクの着用・手指消毒やドアの開放などの換気といった感染予防対策を講じて会議を行っています。



議会ホームページは こちらから ▼



議会の日程や結果
議会だよりバックナンバー
本会議の会議録 など



建設経済水道委員会行政視察



令和4年11月に、建設経済水道委員会が、行政視察を行いました。
 詳しい内容については、3月に行われる行政報告会で報告されます。
 ※報告後、ホームページにも掲載予定です。

巨大な木をイメージした複合遊具

- 視察先 広島県府中市
- 内容 「こどもの国公園における複合遊具等の整備計画について」



公園に隣接する児童館「府中市こどもの国ポムポム」



今後の議会の予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定しますので、変更になる場合があります。

3月定例会

- 2月16日(木) …… 本会議(初日)
- 20日(月) …… 委員会(4年度審査)
- 22日(水) …… 本会議
- 24、27、28日 …… 一般質問
- 3月 3日～15日 …… 委員会(5年度審査)
- 24日(金) …… 本会議(最終日)

議員と意見交換 してみませんか??

「出前市議会」「訪問市議会」
参加グループ募集中!



- テーマの指定(市政、市議会に関すること)
- 日程等は申し込み後に調整後決定

—— 詳しくは市議会ホームページ参照 ——

表紙の写真から

下松中学校では年末恒例の、ボランティア生徒によるワックス清掃が行われました。皆さんの力で、教室はピカピカに!

広報広聴委員会
 委員長 田上茂好
 副委員長 山根栄子
 委員 藤井 徹洋
 三浦 良也
 柳 森 秀明
 瀬 秀明
 (五十音順)

皆さん、お正月はいかがが過ごしてましたか。
 ここ数年は、新型コロナウイルスの影響により、新たな生活様式へと変化しています。
 マスクの着用が当たり前になつてきたことで、人の顔が覚えられなかったり認識しにくかったりという弊害も。
 皆さんも挨拶したときに、素つ気ない対応だなと感じたことはありませんか?
 そんなときはモヤモヤせず、広い心で受け止めましょう。
 お互い様ですので…
 てつや

編集後記

